

2023 もてぎカートレース プリーフィング資料

2023年3月11日
競技長

資料には、本コースにおける注意事項と、その他の特に注意いただきたい事項を抜粋して記しています。
関係する規則書と合わせてご確認ください。ジュニアの方にはエントラントおよび保護者の方からのご説明をお願いいたします。

【ダミーグリッド・ピット】

- 1) ダミーグリッドへの移動は 6 番ピットから入場し、走行前チェックを受ける。
- 2) ピット作業エリアは、1～5 番ピット前のコンクリート上。
- 3) ダミーグリッドは 7～16 番ピット前までのコンクリート上。
(アスファルト部分はピットロードです。アスファルト部分での作業は行わないこと)

【ピット作業エリア】

1～5 番ピット前コンクリート部分
(コントロールタワー寄り)

【ダミーグリッド】

7 番～16 番ピット前コンクリート部分
パイロンにより区画されたエリア (ピットロード出口寄り)

【ピットロード】

アスファルト部分ピット作業禁止



- 4) ピットロードに設置されたシケイン通過後は加速をしない。シケインへの接触は、徐行違反としてペナルティを課す場合がある。

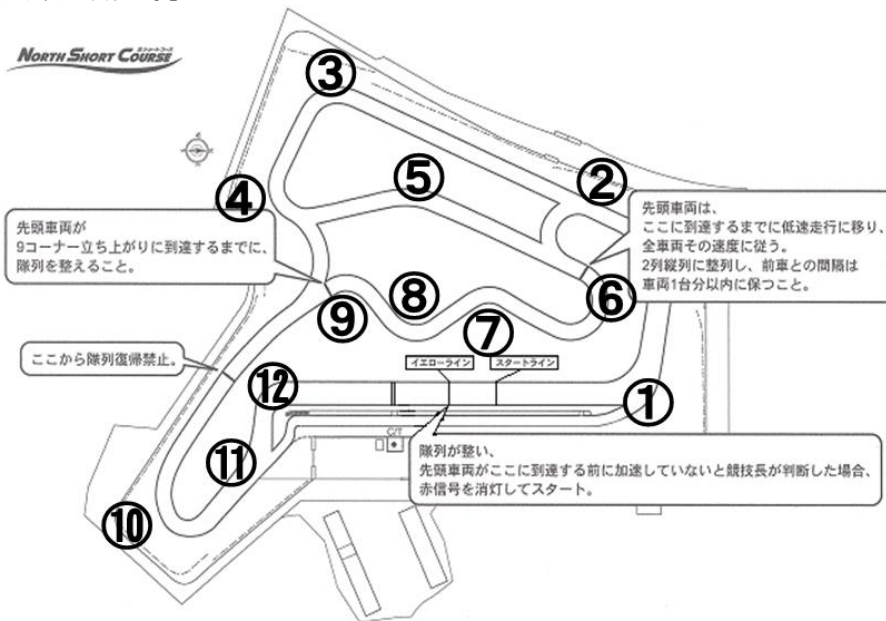
【タイムトライアル】

- 5) タイムトライアル開始後にピットインした車両はすべてパルクフェルメに入らなければならない。
(ピットインした車両は再トライすることはできない)

【外部スターター】

- 6) エンジンは原則セルスタートとし、外部スターターを使用する際はピット作業エリアで使用すること。

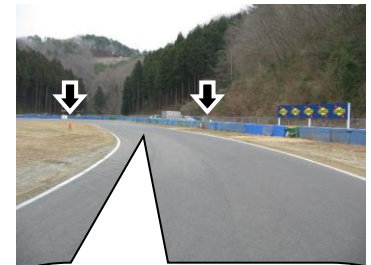
【フォーメーションラップ・スタート】



- 7) コースインする際はホワイトラインのカットに注意。
(予選・決勝ヒートのフォーメーションラップのコースイン時における危険回避はこの限りではない)。
- 8) スタートの合図は灯火信号で行う (赤点灯→消灯でスタート。消灯されない場合はフォーメーションラップ継続)。
- 9) スタートが合図される前に、約 1～2 周のフォーメーションラップを行う (他の車両を巻き込む程のウエービングは禁止)。
ダミーグリッドからスタートした車両はスピードを落とし 2 列に整列し隊列でフォーメーションラップを行う。
全車が加減速を行わず一定の速度を遵守し、スタートラインの 25m 手前に引いてあるイエローラインを自信のカートが通過するまで、もしくはスタートの合図が行われるまでは加速を禁止する。
- 10) フォーメーションラップ中の隊列進行については、ポールとセカンドの車両に、フォーメーションラップ中の速度をコントロールし隊列を整える義務が生じるが、それらの車両が停止または遅れてもフォーメーションラップは続行される。その際は先頭にいる者には同様にフォーメーションラップのペースを保つ義務が生じる。
- 11) 何らかのトラブルでフォーメーションスピードについて行くことが出来ない場合、あるいはスタート時に正常な加速が出来なくなった車両は手を挙げて後続にアピールし、速やかに隊列から外れて最後尾につかなければならない。
- 12) フォーメーションラップ中 2 列目以降の後続車は、前車との間隔を車両 1 台分以内に詰め、先頭車両が 9 コーナー立ち上がりに到達するまでに隊列を 2 列に整え、そのまま 2 列でスタートまで走行すること。

裏面に続きます ↓

- 13) フォーメーションラップ中に隊列のペースや整列を乱す行為（フライング、幅寄せ、プッシング、悪質な加減速など）があった場合は、当該車両に対して白・黒旗が示される。それが繰り返された場合は、最後尾に繰り下げられる。
なお、フォーメーションラップ中の白・黒旗は各ヒートスタート後に出される白・黒旗の回数に合算しないものとする。
- 14) フォーメーションラップ中にコースをショートカットすることは禁止される。
- 15) スタート時、コントロールラインからスタートラインまでの間にコース中央部分に隊列形成のための白線が二本引かれている。スタート合図が出されるまでこの白線から半車身上方離れた所を走行してはならない。これに違反したドライバーはペナルティの対象となる。
- 16) フォーメーションラップ中に自らの前方のポジションの車両がトラブル等で不在の場合、スタートまではその分の間隔を空けて走行しなければならない。前列に詰めてスタートした場合はジャンプスタートとなる。
- 17) スタート後、先頭のカートが1周するまでにスタートラインを越えないカートは、そのヒートに出走することは出来ない。
- 18) フォーメーションラップの開始からスタートまではピットウォールエリアは立ち入り禁止とする。
- 19) フォーメーションラップ中に何らかの理由で自己のポジションから遅れてしまった場合、スタートライン～10 コーナー手前に設置されたパイロン位置までの区間であれば、前車を追い越して自己のポジションに復帰することが出来る。パイロン位置を過ぎてスタートラインまでの区間で自己のポジションに復帰した場合は、当該ヒート失格となる。また、隊列復帰禁止区間でなくても、自分がフォーメーション周回遅れになって、隊列に自分を追い越させる形で自分のグリッドに戻ることはできない。
この場合、ドライバーは黒旗の対象となる。フォーメーションラップに大きく遅れたドライバーについては、白地に赤の×印のボードが提示される場合がある。対象者は隊列復帰禁止、最後尾からのスタートとなる(ミススタートとなった場合も解消されない)。
- 20) フォーメーションラップの隊列が10 コーナー手前のパイロンまで来た時点でピットロードエンドをクローズする。スタートが切られた場合はピットスタートできない。



隊列復帰禁止区間のパイロンは SUNOCO 看板過ぎの両サイドに設置される。

【信号旗】

- 21) 赤旗が提示された場合は、直ちに追い越し等をせず徐行し、ホームストレートまで安全に走行した上で、オフィシャルの指示に従い、1 コーナー手前のパイロンで示された停止位置のコース左右に停止すること。
- 22) オレンジボール旗は最終周では使用されない。ただしヒート後の車検でペナルティを受ける場合がある。
- 23) 信号旗の提示場所（参考）

信号旗	場所
黒旗	コントロールライン付近
ミススタート旗	3 コーナー手前
白黒	コントロールライン付近、6 コーナー
白地に赤バツテン	6 コーナー

【車両の回収】

- 24) ヒート後のカート回収は最終ヘアピンコーナーから2 コーナーまではピットクルーで行うこと。
放送およびオフィシャルの合図の後、速やかに回収を行う。それ以外の箇所に関してはレッカー車が回収を行う。
- 25) ピットロードをレッカー車が通過することがあるため注意すること。
- 26) ヒート中の停止車両についてはドライバーも回収を行うこと（オフィシャルに任せて車両を放置しないこと）。

【車検・計量】

- 27) チェッカーを受けた後は全車パルクフェルメに入ること。

【その他】

- 28) データロガーの設置場所はピット出口側のゼブラゾーンとする。
- 29) 公式練習中の音量の確認は、コントロールタワーのピット側で行う。
- 30) 給排気消音器の脱落
走行中（公式練習、タイムトライアル、予選、決勝）の給排気消音器の脱落は、次のとおり取り扱う。
①脱落して即座に安全な場所に移動して停止した場合、および徐行してピット（車検場）に移動した場合は、当該ヒート失格とする（公式練習除く）。
②脱落して走行し続けた場合は、レース失格とする。
- 31) 捨てバイザーの使用、タイヤへの加工は禁止される。
- 32) ドライバーサインは必ず行うこと。ドライバーサインは、頭上高く手を上げることを義務付ける。
合図不履行とオフィシャルが判断した場合にはペナルティの対象となる。
- 33) X30Jr、Junior MAX、YAMAHA カデットオープンのドライバーは、ストップした場合など、車両から降りることができない（降りた時点でリタイアとなる）。再スタートが自力でできない場合はその時点でリタイアとなる。ただし、緊急の危険回避と判断される場合は、オフィシャルがカートに触れても再スタートが可能な場合がある。
- 34) 火気の取扱いには厳重に注意すること（タバコ、溶接、サンダー等）。違反者はドライバーに対しペナルティが課せられる場合がある。
- 35) エンジンの始動は、必ず定められた方法で行うこと（不要な空ぶかしは行なわないこと）。
- 36) 万が一、暴力行為・妨害行為・威圧行為が発生した場合、大会主催者及び大会組織委員会は、断固たる態度でこれに臨みます。また、これらの行為が著しい場合、警察機関への通達を持って問題の解決にあたる場合もございます。「スポーツマン」である大会参加者の皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。 ※特別規則書 P.4 より抜粋。本件は SNS 上での行為にも適用されます。
- 37) 大会直前発行のブルテン 01, 02 で特別規則書の追記・変更あり。また公式通知 No.2 タイムスケジュール改定版も確認すること。

以上